

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【公開番号】特開2019-136341(P2019-136341A)

【公開日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-034

【出願番号】特願2018-23197(P2018-23197)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月16日(2021.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、

飾り図柄が変動表示される変動表示画像が表示される画像表示手段が設けられる遊技盤の所定の遊技領域と、

前記所定の遊技領域の正面側である所定領域において所定の物体が存在する場合に所定の検知状態となる検知手段と、

第1位置と第2位置との間で変位される可動部材と、

前記可動部材を変位させる変位手段と、

遊技の進行において遊技演出を前記画像表示手段に実行させる演出実行手段と、

を備え、

前記可動部材が前記第1位置から前記第2位置に変位される場合に前記検知手段が前記所定の検知状態となり得るものであり、

前記演出実行手段は、

前記変位手段によって前記可動部材が前記第1位置から前記第2位置へ変位される所定変位の場合に、前記可動部材が変位するよりも前に、対応した第1演出を実行可能な第1演出実行手段と、

所定期間に前記所定領域で前記所定の物体の存在が前記検知手段によって検知された場合に第2演出を実行させる第2演出実行手段と、

前記所定期間ににおいて、特定条件が成立したと判断された場合に前記第1演出が実行されないようにする手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ遊技機やスロットマシンなどの遊技機では、遊技の進行に伴い遊技演出が実行されるものがある（例えば、特許文献1参照）。また、遊技演出としては、遊技機における液晶表示装置の画面などで各種演出が実行されるものがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の目的は、遊技への注目度や興趣や理解度を高めて遊技者の遊技意欲を向上させることのできる遊技機を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る遊技機は、遊技の進行を制御する主制御手段と、飾り図柄が変動表示される変動表示画像が表示される画像表示手段が設けられる遊技盤の所定の遊技領域と、前記所定の遊技領域の正面側である所定領域において所定の物体が存在する場合に所定の検知状態となる検知手段と、第1位置と第2位置との間で変位される可動部材と、前記可動部材を変位させる変位手段と、遊技の進行において遊技演出を前記画像表示手段に実行させる演出実行手段と、を備え、前記可動部材が前記第1位置から前記第2位置に変位される場合に前記検知手段が前記所定の検知状態となり得るものであり、前記演出実行手段は、前記変位手段によって前記可動部材が前記第1位置から前記第2位置へ変位される所定変位の場合に、前記可動部材が変位するよりも前に、対応した第1演出を実行可能な第1演出実行手段と、所定期間に前記所定領域で前記所定の物体の存在が前記検知手段によって検知された場合に第2演出を実行させる第2演出実行手段と、前記所定期間ににおいて、特定条件が成立したと判断された場合に前記第1演出が実行されないようにする手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技への注目度や興趣や理解度を高めて遊技者の遊技意欲を向上させることのできる遊技機を提供することができる。